

会 議 録

1 会議名

令和2年度 第2回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業について（公開）

（2）令和元年度地域活動支援事業の完了について（公開）

3 開催日時

令和2年6月17日（水） 午後6時00分から午後9時20分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、植木厚祐、片田和夫、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄
佐藤 力、篠原精子、清水雅浩、高橋武弘、平原留美、宮崎雅彦（副会長）、
山岸優子、横田英昭（欠席なし）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

8 発言の内容

【小池係長】

- ・14人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【有坂会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：片田委員に依頼
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

資料により説明。

—令和2年度地域活動支援事業について—

【有坂会長】

次第3議題（1）「令和2年度地域活動支援事業について」に入る。

本日は、今年度、提案があった全事業について、提案者からの事業説明と質疑応答の後、審査・採点を実施し、事業の採択、補助金額等の決定を行う。

正副会長は審査、採択に加わるため、事務局に会の進行を求める。

【堀川センター長】

・提案事業8件、補助希望額合計528万9千円、和田区予算配分額620万円の枠内。

・審査の流れは1事業につき、事業説明5分以内、質疑応答8分以内、審査と採点2分以内で行う。

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

審査・採点を始める。

整理No.1「住民の安全・安心活動事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【佐藤勝雄委員】

リヤカー、車椅子は1台なのか、数台なのか。また、格納する場所はあるのか。

【提案者】

リヤカー、車椅子とも1台ずつである。格納する場所は、石沢公会堂に併設している倉庫に格納しようと思っている。

【有坂会長】

防災訓練が10月18日に予定されている。これは多分、台風の影響を考慮して想定されていると思う。新型コロナウイルスの第2波或いは第3波の影響が出てくる可能性がある中、時期的にもう少し早く実施する考えはないのか。もし新型コロナウイルスの影響があった場合、中止は考えているか。

【提案者】

石沢は田園地帯であり、稲作との関係もあるので、10月18日に行う予定で消防署にもお願いしている。もし、新型コロナウイルスの影響があった場合は、実施時期を変更し方法を考慮して、今年度中には必ずやりたいと思っている。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.1の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.1「住民の安全・安心活動事業」の審査・採点を終了。

整理No.2「吹上遺跡を花で彩るプロジェクト事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

宣伝の強化にチラシを1,000枚、写真パネルを10枚作成することだが、それをどのように周知する予定か。また、来年度以降はどのように考えているか。

【提案者】

昨年、チラシの宣伝費はゼロで、和田地区の町内会に、回覧として1回だけ配布した。今年はその回数をできれば2回くらいに増やしたいと思っている。ただ、何枚使うかは、今のところ分からない。そのほか、町内関係でも随時、回覧をまわしたり、各家庭に配ったりするので、1,000枚くらいは必要と考えている。来年

からの予定としては、継続できるものであれば、継続するようにこれからもやっていきたい。

【宮崎副会長】

地元の新聞も使えばもっと周知されるのではないかと思う。

【提案者】

助言として承る。

【高橋委員】

予算の中にボランティアへの謝礼、お茶菓子代が計上されているが、関係者の飲食費は、予算に含めてよいのか。

【提案者】

お茶菓子ということで、休憩時にパン1個くらいはよいのではないかと考え申請した。

【堀川センター長】

ボランティアや講師のお茶代、お菓子代は、事業目的の実現に必要な最小限な経費であれば認めている。但し、講師の弁当代、会議時の飲食代、スタッフの弁当代等は不可としている。

【佐藤勝雄委員】

コスモス鑑賞を楽しみにいる。昨年もちよっと影響あったかと思うが、雨天時に鑑賞する場合、雨避けは考えているか。また、足元が非常に悪くなる可能性があるため、その対策についても教えてほしい。

【提案者】

昨年、天気はある程度あたってくれたが、橋の下にテントを一つ張り、あとブルーシートを何枚か、町内所有のものを持ち出した。そして、会議用の座りテーブル約20卓を並べた。最悪の場合、集落センターに入っていくことになる。

【有坂会長】

10月ぐらいに新型コロナウイルスの再燃も考えられるが、その場合は中止も考えているか。

【提案者】

そういったことになれば、中止を考えるしかないと思う。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.2の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.2「吹上遺跡を花で彩るプロジェクト事業」の審査・採点を終了。

整理No.3「上越妙高駅かわいでひな祭り事業」について、提案者に説明を求め
る。

【提案者】

・事業提案書に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

収支の支出関係で、のぼり旗を50枚作成するということだが、今まであったものに追加して50枚作成するのか。また、そののぼり旗はどの辺に立てるのか。4年目に入ったが、好評で、例えば、全国のどの辺から来ているかとか、毎年楽しみに来られる人が何人ぐらいいるのか。

【提案者】

のぼり旗は2か月近くも使うので、雨風にあい、ほとんど1年で駄目になるところ、この間3年使ってきた。今年は新しく50枚を作成し、上越妙高駅の中に脇野田通りというところがあるが、そこにも設置をしたいと考えている。どういう所から来られているかについては、外国の人はもちろん、福岡とか兵庫とか、或いは上越を経由して、いろいろなところへ行かれる人、そういった人たちにとても好評である。それと、取り組みを毎年楽しみにしているグループ、個人、家族、お友達など、こういうことにとても関心のある人達が大勢来ているようである。

【有坂会長】

今回3か所に分散する予定になっているが、2月、3月というと新型コロナウイルス

ルスが再発する懸念が言われている。3か所に分けて密の状態を避けようと場所を分けても、そこに集まる人がある程度多くなったり、1人当たりの面積を大きくとらないと密な状態になってしまう。そこに密な状態を作らないために、会員56人が毎日3か所に出向いて状況を確認しながら、入場制限などを行うことを考えているか。

【提案者】

そこまでの予定はないが、今回チラシを2,000枚予定しており、その中で新型コロナウイルス感染症の予防について説明するとともに、密を避けてもらうことを書いて周知をしたいと思っている。感染の状況がどうなるかわからないので、柔軟に対応したいと思っている。

【片田委員】

上越妙高駅と共に歩む会は、会員が56人とのこと。どのように、会員を募集して、どの地区の人が一番多いのか。

【提案者】

大和2丁目の会員の方がほとんどであるが、他に大和1丁目、南本町とか、ぜひ一緒にさせてほしいという人から入っていただいている。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.3の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.3「上越妙高駅かいわいでひな祭り事業」の審査・採点を終了。

整理No.4「今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業概要に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

灯籠の固定部材変更の金額が大きい。また、スケジュール的に今どの辺まで進んでいるのか。

【提案者】

ケヤキの前に6基の灯籠が並んでいる。灯籠は境内全体で12基あり、ケヤキの前の灯籠は小さく、他は非常に大きなものもある。ケヤキの前の灯籠を固定する部材が2.5メートルくらいの高さの鉄管で、4本結んで灯籠を固定している状況である。これが景観を非常に阻害している。平成29年度の講演会で専門家の福井県立大学の学長さんから来ていただき、神社全体でもそうだが、特に大ケヤキの前の灯籠は不釣り合いであり、こういう形であると非常に景観が良くないということ指摘され、そこから始まっている話である。そこで、今回は自然の材料、木と竹で組み、かつ、灯籠のかさの高さぐらまでの高さに抑える。プラス安全を考えて、接着剤が実際使われていないようなので、接着剤も使い、安全面と景観面をきちんとした形に変更したい。

スケジュールについては、美化活動を行い、おもてなし空間の演出ということで旗や椅子を設置し、杉の木の伐採をしたところである。

【有坂会長】

石灯籠はいつごろ作られたものか。また、説明の中で各地から来訪される人も大勢いるとのことだが、どの辺の地域から何人くらい来ているのか。

【提案者】

石灯籠がいつ設置されたかは、明確には分からない。

ただし、江戸期の終わり頃ではないかということで、明治になってから山手神社が合祀されて作られているので、その前の段階ではないかと思う。来訪される人については、先ほどのお雛様の事業とは違い、そこにノートを設置する形にしていな。従って、何人くらいかというのは分からないが、私どもが接した限りで言うと、例えば、奈良、京都、神奈川、千葉、東京から来られている。私どもがたまたま接触した人々なので、そういう意味では氷山の一角ではないかと思うが、実際にここに見に来られている。パンフレットを作っているの、また後日お渡しするが、その中にも、去年の創作活動で応募いただいた人がいる。全国の色々な方面から応募

いただいております、そういう意味では全国的な認知があるのかなと思っている。

【篠原委員】

単純に考えて、石灯籠は神社の所有物とってしまうのだが、そうではないということか。石灯籠は誰の所有物か。

【提案者】

質問の趣旨が完全には分からないが、神社のところにあるものは大ケヤキも含め、全て神社の所有物である。私どもは、その所有者から許可をいただいて、そして保護活用事業というものをやっている。ケヤキに対するいろいろなことをやっているし、その景観向上ということで、灯籠に対しての事業も行う。こういう関係にある。

【篠原委員】

神社では、その件について何も対応しないということか。

【提案者】

具体的なそういう動きはない。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.4の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.4「今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業」の審査・採点を終了。

整理No.5「大和3丁目自主防災事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業概要に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

スケジュールの関係で、令和2年6月に収納スペースの確保とか、倉庫の改修とあるが、どのようなことを考えているのか。

【提案者】

初めての提案であるため、どんな流れになるのか見えていない。具体的に動き出せるようになれば、力を入れてやりたいと思っている。

【有坂会長】

今、質問のあったこの倉庫の改修だが、リヤカー、発電機、投光器を収納する場所はこの倉庫か。

【提案者】

そのとおり。会館の中に倉庫が2か所あり、その1か所を全部防災倉庫にしようと思っている。この際、倉庫の掃除も兼ねて計画している。

【佐藤勝雄委員】

発電機のサイズはどのくらいか。簡単に持ち運びできるタイプなのか。あと、屋外用投光器はどういう仕様なのか。

【提案者】

発電機は、押して動かせる車輪があるタイプの中で一番パワーがあるもので見積をした。投光器は、三脚付き投光器である。

【佐藤勝雄委員】

大和小学校まで距離あるが、1か所で使うわけではなく、ある程度移動しないといけない。そういうキャスター付きのタイプは、運ぶのに大分時間がかかるのではないか。

【提案者】

使うのは一次避難だけと考えている。一次避難場所が公民館とその裏の公園になっている。夏場だと外で扇風機ぐらいいは欲しいので、何台か外で扇風機をまわしたり、冬なら公民館の中が使えれば、灯油ストーブぐらいいを使えるようなパワーのあるのがよいと思っている。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.5の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.5「大和3丁目自主防災事業」の審査・採点を終了。

— 休憩 —

整理No.6「和田地区「各スポーツ大会」活性化事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業概要に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【横田委員】

アンプ、スピーカー等の設置は、例えば私のような素人でも簡単にできるものなのか。また、放送が聞こえないということだが、特に屋外の競技だと、参加されている人はよく聞こえるのかもしれないが、近隣の住民の皆さんに迷惑になることがないのか、そこら辺の音量とかはどのぐらいにするのか。

【提案者】

器具は、プロフェッショナルの人が使うようなものではなく、ごくあるようなものを考えており、話を聞けばすぐ使えるものだと思う。もし貸し出しということになると、取り扱いがちょっと気をつけていただきたいが、簡単な説明書を添付するような形にしたいと思っている。音量の件は、和田体育協会では話は出なかったが、各競技の説明など拡声機を持って対応している。それでも全然聞こえないとのこと。私も大和小学校の近くで運動会などの声とか聞こえてくるが、中には不快な思いをされる人もおられると思う。地域の運動会ということで、丸一日ではなくて、体育祭に関しては開会式が8時30分、終了が12時ちょっと過ぎぐらいなので、その辺はご理解いただけたらと思う。

【宮崎副会長】

放送器具の管理は、和田体育協会が責任を持って行うということだが、46万円もするものなので、できれば公の施設などで管理してもらった方がよいと思う。ま

た、いろいろな行事をやっていて、その結果発表を機関紙で報告しているが、1年前の結果がそこに載ってくるので、それについて改善する考えはないか。

【提案者】

管理について、放送器具が得意な人がいて、その人と一緒に和田体育協会で管理することになっている。その件は、会に持ち帰って説明して、よりよい管理体制を作っていきたい。体協だよりについて、私も気になっており、1年前の結果が出てしまっているので、和田体育協会の広報担当にもっと早くしていただけないかお願いして改善するように努めていきたい。

【佐藤力委員】

音響設備の貸し出しもされるということで、貸し出した時点で、故障、紛失があった場合、その補償等も考えているか。

【提案者】

取り扱いはくれぐれも気をつけていただきたい旨をお伝えして貸し出すが、もしも故障や何か部品が紛失したときのことは、まだ和田体育協会の中で話をしていないので、今後もっと詰めて決めていきたい。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.6の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.6「和田地区「各スポーツ大会」活性化事業」の審査・採点を終了。

整理No.7「大和綱引きチーム活動支援事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

・事業概要に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【有坂会長】

ファミリー綱引きの時に使用するユニフォームを提案している。11月ごろに

綱引き大会がある予定だが、今の状況からいくと新型コロナウイルスが再発する可能性も出てくる懸念がある。再発した場合、多分大会は中止になると思う。そうした場合は、ユニフォームを買うことも、取り止めにすることを考えているか。

【提案者】

先ほどの体育祭とファミリーバレーボール大会の話も、新型コロナウイルスの影響でこの先ちょっとどうなるのかがまだ分からない。もし申請が通ったとしても、そういう大会等が中止になった場合は、今回は辞退させていただく考えでいる。

【佐藤勝雄委員】

ファミリー綱引きでは、素晴らしい成績を残されて、本当に感嘆している。事業の目的及び期待する効果のところに災害時等のボランティア活動で着用したり、他団体から要請があれば、無償貸出もすると記載されている。ユニフォームには、大和チーム、A B等、どんな表示にするのか。

【提案者】

今のユニフォームには、「ヤマト魂」としか入っていない。A・Bとか、綱引きチームとかそういう名前は入っていない。ここに挙げたのは、もしもの時に災害で炊き出しでも出そうとか、また他の団体さんがちょっとイベントする際に、お揃いのものがあればよいので貸して欲しいという要請があれば無償で、ただ洗濯だけして返していただければ貸し出したいと思っている。

【佐藤勝雄委員】

他団体から要請があれば無償貸し出しというのは、ちょっとしっくりこないが、ボランティア的なことは非常によいと思う。

【草間委員】

事業主体が和田体育協会（大和地区町内会）となっているが、ここは、大和地区綱引きチームとすべきかと思う。事業主体の中に町内会自身が入るのはあまりないような気もする。それから、町内会長会としては、例年、数万円の助成金を綱引きチームに対して出している。町内会長会では、今回、古くなったからユニフォームを新しくしたいという相談を受け、この地域活動支援事業からある程度、予算としていただければ、それを足す中でやったらどうかという話で進めたと思う。その

辺の説明をお願いしたい。今回新型コロナウイルスの関係で、やめることになったらユニフォームもやめると言われたが、その大会がなくなっても、来年になったらまた同じ要望が出てくることを考えると、作る時に作っておいた方がよいのではないか。

【提案者】

事業主体の件だが、大和綱引きチームの方が合っていると思う。先ほど、ご指摘があったように、毎回、大和地区町内会長会様からご支援をいただいてこの大会に参加している。ご支援していただいた中で、参加費を工面したり、クリーニング代や大会当日の飲み物や軽食等に使っている。前回、大和地区町内会長会様からご審議いただいて、ユニフォームを作った。今回の件は、前回大会で大和地区町内会長会様が応援に来られていたので、ご相談させていただき、その後の回答で地域活動支援事業に申請したらどうかとなった。もし足りないようであればまた考えるというお話をいただいた。それと、新型コロナウイルスの影響で大会が中止になった場合は、もし申請が通ったとしても辞退させていただくとしたが、その時は、また来年、同じような申請を出そうと思っていた。大会が中止になると練習会もできないのではないかと考えている。活動ができる状況でなければ報告書も出せないと考えているので、今回は辞退して、また来年申請したいと考えている。

【宮崎委員】

Tシャツの単価が500円で、製版代とかプリント代が高い。今後どれぐらいTシャツを使う見込みか。Tシャツが本当に500円でよいのか。そして、どうしてこんなに製版代が高いのか疑問である。

【提案者】

製版代はどうしてもこの位になってしまうとのこと。今回提出した見積書以外のところにも聞いたが、大きさにもよるが、1万円くらいはするとのことだった。Tシャツの方は、大分割り引いており、個人で1枚買うと1,200円くらいだったと思う。枚数が多いので、大分割り引いている。今まで綿素材のもので10年くらいはもったので、今回、ナイロン系の取り扱いが楽なものにして、同じく10年くらいと考えている。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.7の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.7「大和綱引きチーム活動支援事業」の審査・採点を終了。

整理No.8「上越妙高駅西口イルミネーション事業」について、提案者に説明を求める。

【提案者】

- ・事業概要に基づき説明

【堀川センター長】

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【有坂会長】

12月に点灯式を開催する予定になっているが、これは人を集める予定なのか。それとも、スタッフだけが集まってやるのか。

【提案者】

今のところの予定では、上越市もイベントを100人規模200人規模で開催してもよいというガイドラインが出たので、今後、新型コロナウイルスが広がらない限り、広く町内会の皆さん、地域の皆さんに来ていただいて、点灯式を行いたいと考えている。

【有坂会長】

12月という再発する可能性が十分にあると思う。その場合、企画自体を中止するのか。或いは、今のところはソーシャルディスタンスを確保すればできることになるが、距離を確保するのに、どういった方法を考えているのか。

【提案者】

100人200人という話をしたが、例えば、その100人までが何メートルで、何人が参加できるというような計算ができると思う。その時には限定何人ということで、町内会から5人ずつとか、町内会がよいか、学校がよいか分からないが、

そこから代表選手みたいなことで来ていただくことを考えている。先ほどの話のように、その映像を撮って流すことがあるので、広く、大きく、周知できればよいと思っている。中止は考えていない。例えば、上越で新型コロナウイルスが発生した場合、人を集めるのをやめるように、ということも最悪考えられると思う。その時は、電気技術者だけにやってもらうことも考えている。また、高校生などに集まってもらう場合、こういう会議ではなく、最近のテレビ会議で行ったりして、危ないなと思ったらそういう方式に切り換えていきたいと思っている。

【横田委員】

収支計画の支出の部に、電力の使用料がない。また、かなりのイルミネーションが使われるが、その保管場所をどう考えているのか。

【提案者】

電気代のことだが、去年の雪まつり実行委員会では、西口の一つの街路、ワンラインだけ行った。その時に、市役所に交渉に伺って、計算をしてもらってこの程度だったら市役所で負担するということが言われた。今回、ラインが3つになって3倍になった時にどう言われるか分からない。もし電気代がかかるということになったら、イルミネーションの業者さんをお願いをして、工事費をちょっとまけてもらって電気代に充てればと勝手な算段をしている。保管場所は、去年に雪まつり実行委員会が購入したライトは、地域の風間電気さんに保管していただいているので、とりあえず今回もお願いをする予定である。ただ、今後、この事業を続けて、この辺りを飾れるライトを多くしたいとなった場合、多分預けられなくなると思うので、例えば上越妙高駅に倉庫があるが、市をお願いをして一部を借りるとか、そういう方法があろうかと想像している。

【宮崎副会長】

東口の方は、今、市の方でやっていると思うが、西口の方はどのように考えているか。

【提案者】

去年、雪まつり実行委員会でもそのようにおっしゃっていたが、市に渡すのではなく、できれば、このエリアに企業もたくさんあるので、少しずつ寄付をしていた

だいて、ずっと民間で続けていかれるように頑張っていこうということが大前提である。

【宮崎副課長】

今後、地域活動支援事業は、なるべく使わないということによろしいか。

【提案者】

本年度はこれだけである。ライトを購入することについては是非、地域活動支援事業で助けていただきたい。今後の活動について、例えば、昨年いろんなイベントをこれに伴い行ったが、そういうものについては、自費でできるように考えていこうと思っている。今回は、イルミネーションと、人集めのための発信に要する経費を捻出させてほしい。

【佐藤勝雄委員】

高校生が中心になって企画立案、実施されることは素晴らしいことだと思う。少子高齢化の中、若い世代がこれから和田地区を支えていかなければいけないので、大変よい企画だと思う。ただ、東口と違って、どのように行うのか。エリアだが、東口の方は立木を結構利用して素晴らしかった。西口は結構、商業施設もでき、エリアを取れるのか教えてほしい。

【提案者】

駅から釜蓋遺跡公園に向かう道が1本、それから真ん中に、西口から見下ろすと大きな桜の木がシンボルツリーとしてあるので、そこに1か所。それと商業施設に向かっていく長い通路があり、そこにも桜の木が植わっているのでそれで3本。その他に駐車場、釜蓋遺跡公園に向かっていく反対側の道にも桜が7本位植わっており、それを順番にやっていると西口全体が明るくなっていく。そうすると、東口が先駆的にやられたことと同じように、駅に来た時に東も西も明るくなっていくように見える。地域の企業さんの力が続くようであれば、その先は、大通りに向かって、バイパスに向かったのけやき通りも、そんなことが叶ったら、すごいことになると思う。

【堀川センター長】

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.8の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.8「上越妙高駅西口イルミネーション事業」の審査・採点を終了。

事務局で集計作業を行うので、そちらの時計で午後8時30分に再開したい。

— 休憩 —

【堀川センター長】

会議を再開する。

審査採点結果説明

- ・基本審査で不適合が過半数となった事業なし。
- ・優先採択審査でその他の事業となった事業なし。
- ・共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ（満点は350点）

1位 整理No.1 住民の安全・安心活動事業 316点

2位 整理No.5 大和3丁目自主防災事業 302点

3位 整理No.3 上越妙高駅かいわいでひな祭り事業 301点

4位 整理No.2 吹上遺跡を花で彩るプロジェクト事業 291点

5位 整理No.6 和田地区「各スポーツ大会」活性化事業 280点

6位 整理No.4 今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業 276点

7位 整理No.8 上越妙高駅西口イルミネーション事業 256点

8位 整理No.7 大和綱引きチーム活動支援事業 252点

審査採点結果に基づき、有坂会長に採択審査の進行を求める。

【有坂会長】

今の事務局の発表の通り、不適合の事業はなし。すべて優先採択ということになった。結果はご覧の通りであるが、これについて、提案事業の希望額を満額配分してよいかどうか、協議に入りたいと思う。

提案事業の補助希望額を満額配分してよいかを諮り、委員の了承を得る。

満額配分の結果、91万1千円の残金が出ている。追加募集を行うかどうかの判断について、委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

余った予算91万1千円をどうするかという前に、附帯意見をつけるかどうか。私はあった方がよいと思うが。

【有坂会長】

それぞれの提案に対して、附帯意見をつけるかどうか、委員の発言を求める。

【宮崎副会長】

最後の大和綱引きチームの活動支援事業で8万円の申請額があり、新型コロナウイルスの関係で中止になったら、今年はこの申請は取り止めるという話があった。そうなるこの91万1千円には含まれず、また来年、8万円が申請されると、来年活動しようと思っていた事業からまた8万円近くが減額される。やはり有効に使うためには、例えば、練習するにしても3密にならないように少し間隔を空けてやるとか、よい方法があると思う。附帯意見を付し、工夫をして事業を実施したらどうか。来年以降もやるとなると大会がなくてもユニフォームを購入して、今年でこの事業は完結した方がよい。

【草間委員】

新型コロナウイルスの影響で大会が中心になるにしても、いつ中止が決定されるのか、そういうことも分からない状況の中で、ユニフォームをいつから準備するかというのもあると思う。先ほどこのことについて質問し、事業報告ができなければ辞退すると答えられた。本当はそうでないといけないのだろうが、是非、ユニフォーム購入予算を計上してほしいというのが私の意見である。

【有坂会長】

事務局に聞きたい。例えば、予算を執行できなかった場合に、事業報告の中ではどういった扱いをすればよいのか。

【堀川センター長】

途中で事業をやめるということになると、事務局の方に事故報告という書類を出していただく。それによって、補助金は返還していただくことになる。先ほどの説

明を聞いて、そういう状況であれば練習すらできないと提案者も発言していた。あくまでも、やるやらないは、提案団体の判断になる。

【有坂会長】

事業報告は可能であると思う。

例えば、このユニフォームだけの問題ではなく、他の提案についても、私もその都度、新型コロナウイルスの関係で、事業ができなかった場合どうするかということは、いくつかお聞きしている。それに対して、いくつかは事業を停止するという答えもあったと思う。なので、予算を執行するかしないかというだけで、事業報告自体はできるのではないかと思う。あと、大会もないのにユニフォームだけ買って、来年度もあるからよいという考えもあるかもしれないが、来年も申請できるため、特にここでどうしても執行しなければいけないことでもないと思う。

【堀川センター長】

募集要項にも書かれているが、活動が伴っての備品である。ただ備品だけを購入して預けておくのは、この地域活動支援事業に該当しないパターンになる。活動が伴ってこそその補助金なので、ただ買って、来年度に回すというわけにはいかない。

【宮崎副会長】

その辺ちょっと確認をさせていただきたい。その活動というのは、大会がなくても、練習も、例えば3密の状態とか、感染しないような状態でやればそれも活動として認められるのか。

【堀川センター長】

実際に活動したかどうかを報告してもらうことになる。

【有坂会長】

だから、今の場合だと活動というのは、大会に出ることが活動目的だと考えてよいと思うが。

【堀川センター長】

大会に参加するために練習をしている中、市の方で大会を中止するという決定が、後にあった場合、それまでの練習も活動の一つになるかと思う。

【宮崎副会長】

練習も活動であれば、工夫をして、活動していただくように附帯意見としてつけられればよいというのが、私の意見である。

【有坂会長】

ユニフォームの話だが、いわゆる大会の時に着るのがユニフォームであって、練習の時はそれを着て練習するものではないというのが私の考えである。練習はそのユニフォームを購入する、しないの問題ではないと思う。あくまでも大会があればユニフォームを購入して着て全員で出る。練習の時は、ユニフォームを着て練習する必要はないのではないかと。

【佐藤勝雄委員】

附帯意見としてそういう条件を付してよいのではないかと。代表の人は、新人も募集したいとして、ユニフォームを手配する意向である。そういう附帯意見をつけて予算を執行すればよいのではないかと。

【宮崎副会長】

こちらの方で、何でもかんでも活動してということじゃなくて、活動できるかどうか検討してくださいぐらいの附帯意見をつけてもよいのでは。

【草間委員】

団体の活動というのは、ユニフォームを着るとか着ないとか、そういった決まりをつける必要はないと思う。それでも、グループの活動は、以前から継続しているので、最後にユニフォームを着て出るということを目指している。そういった熱意に対して、やれるような方向性を持ってよいと思う。

【宮崎副会長】

先ほど事務局の方からも話があったように、地域活動支援事業は、事業を認められたものを使って活動することなので、ユニフォームを着用しないで活動しても、それは事業にはならないと思う。

【有坂会長】

あと意見は特に出ないようなので、8位の大和綱引きチーム活動支援事業に、附帯意見をつけるか否か、決をとりたいと思う。8位の大和綱引きチーム活動支援事業に、附帯意見を付すかどうか採決をすることについて諮り、委員全員の了承を得

る。採決の結果、附帯意見を付すことに決する。

また、附帯意見の内容については、会長と副会長に一任することで委員の了承を得る。

【高橋委員】

もう一つスポーツ大会がある。これも同じように活動する、しないで、その器具を使う、使わないというのが出てくると思う。

【宮崎副会長】

私も同じくつけた方がよいと思う。確かに和田体育協会は、スポーツ大会も全部中止になった時にどうするかというのがあるので、それは何らかの活動をそれを使って行うように、附帯意見をつけた方がよいと思う。

【有坂会長】

そうすると、先ほどのお雛様の事業は2月から3月に開催だが、もしその時期になれば、実際に事業ができないというようなことも考えられる。確か提案者は、何とかやりたいという意見だった。そうすると皆に附帯意見をつけなきゃいけなくなると思うが。たとえ、新型コロナウイルスの第2波第3波が来ても、やって欲しいというような附帯意見なのか。

【宮崎副会長】

一番関係する活動が、できにくいと思われる和田体育協会のスポーツ大会の器具とかユニフォーム等は、生命を守りながら活動できるように検討してもらいたいという内容で、他の活動は、特に附帯意見をつけなくても、その分減額すればよいと思うので、そちらには、付す必要はないと思う。

【平原委員】

和田体育協会の事業だが、補助金の対象になっているのはユニフォームの購入と放送器具の購入であり、それ以外の練習にかかる経費は、補助金の対象外になっている。大会が開催されるか否かというのは、おそらく事前に判断されると思う。なので、ユニフォームや放送器具の購入がどのタイミングで必要になってくるのかというところが、提案者の方と協議が必要かと思う。そんなに早く買わなければいけないのかとか、放送器具も大会の前に早く買わなければいけないのかとか、ファミリ

一綱引き大会が中止になった場合、買ってしまったものについて、行政の方で中止が判断された場合にそのお金を返してくださいという話になるのかどうかというところもあると思う。附帯条件については、新型コロナウイルスの関係で、すべてのものが中止になる可能性はあると思うので、どこまでどういうふうにつけたらよいのかというのは、正副会長に判断をゆだねたいと思う。

【有坂会長】

附帯意見について、先ほどユニフォームについては付すことで、皆さんの賛同を得たが、もう一つの放送器具の購入について、附帯意見をつけるかどうか委員の発言を求める。

【佐藤力委員】

放送器具については、メインはたぶん体育祭だと思うが、3月にファミリーバレーボール大会もある。その時も、多分必要になってくると思う。そうすると、体育祭は新型コロナウイルスの影響で実施できなくてもファミリーバレーボール大会はできる可能性があると思う。そういった場合も考慮して購入する前提としてみた方がよいと思う。放送設備は和田体育協会として購入予定である。ファミリーバレーボール大会のことも考えると、体育祭を重点的に考えるのではなく、両方をみて、考えてもらった方がよいと考える。

【有坂会長】

附帯意見を特につけなくてもよいということか。

【佐藤力委員】

そうである。

【篠原委員】

今回の新型コロナウイルスに関しては、主催者側が自発的にやめるわけではないと思う。天災みたいなもの。自分たちからやめるというわけではないので、今回に限り例外を認める、そういうことはできないのか。なので、ユニフォームを作ってしまったけれども、中止になっても許可する。器具も中止になっても許可する。

【有坂会長】

おそらく買うタイミングだと思う。例えば、大会のひと月ぐらい前に買って、そ

れが急に中止になったとすれば、これは買ったことは間違いないので、それはそれで認められると思う。

【篠原委員】

それを附帯事項としてつけばよいのではないか。

【宮崎副会長】

綱引きチームで、大会でなくとも、3密とか感染しないように気をつけながら活動すれば、それも活動の一環だと思う。また、備品を買って、実際に試してみたり、和田体育協会の行事以外の他の行事で使うことができれば、それも活動の一環であり、他のところにも貸し出すと言っているので、それを使って活動報告書ができれば、問題はないと思う。

【堀川センター長】

購入のタイミングだと思う。例えば、市が明日の段階で、今年度はファミリー綱引きを中止すると言っているにも関わらず、購入するというわけにはいかないと思う。先ほど言ったように、何かをするために準備をして用意をしていたが、実際、直前になって中止になったのであれば、その分の経費は認められると思ってもらいたい。

【有坂会長】

和田地区「各スポーツ大会」活性化事業に附帯意見を付すかどうか、採決をすることについて諮り、委員全員の了承を得る。採決の結果、附帯意見を付すことに決する。

附帯意見の内容については、会長と副会長に一任することで委員の了承を得る。
以上で審査から採択まで終了した。

次に、和田区の予算620万円に対して、今回執行する金額が528万9千円、91万1千円余る。この残金について、追加募集をするかどうか、委員の発言を求める。

【草間委員】

今まではどうだったのか。

【有坂会長】

過去に確か追加募集をしたことがあった。

【草間委員】

しない時もあったのか。

【有坂会長】

私の知る限りではなかったと思う。

【宮崎副会長】

91万1千円のお金を使って和田区が活性化すればよいと思うので、追加募集した方がよいと思う。

【佐藤勝雄委員】

私もせっかく620万円を用いたのだから、残りの91万1千円、是非とも追加募集した方がよいと思う。

【高橋委員】

私も追加募集に賛成だが、追加募集するにしても、いつまでというか、その辺の期限を知りたい。

【堀川センター長】

仮に追加募集をする場合、最速で日程を組んでみると、7月25日号の広報上越に合わせて、和田区の地域協議会だよりを全戸配布する。その和田区地域協議会だよりに募集記事を載せて、全世帯に周知をさせていただきたいと思う。広報上越が25日に届くので、それを各家庭でご覧いただく猶予期間を約1週間設けるルールになっているので、1週間後の8月3日から、22日間、8月24日月曜日までを募集期間、そして、出てきた案件を審査するのが、9月上旬ぐらいの地域協議会で審査するスケジュールになると思っている。

【有坂会長】

追加募集を実施するかどうか、採決することについて諮り、委員全員の了承を得る。採決の結果、追加募集することに決する。

追加募集の要項については先ほど事務局からの話のとおり、7月25日の地域協議会だよりで周知して、9月にまた審査・採択の会議を開くことを委員に諮り、了承を得る。

【佐藤勝雄委員】

本日、528万9千円採択されたが、各団体への支払いはいつになるのか。

【堀川センター長】

各団体が市に補助金申請をする。その際、補助金の支出計画というものを出示してもらい、団体によっては、例えば、四半期ごとに幾らずつ支払ってほしいと申請してくる団体もあるし、全部終わった後に一括して市に支払いを求めてくる場合もある。団体の財政状況によって、申請が変わってくる。

【有坂会長】

以上で次第3議題（1）「令和2年度地域活動支援事業について」を終了する。

—令和元年度地域活動支援事業の完了について—

【有坂会長】

次第4報告（1）「令和元年度地域活動支援事業の完了について」に入る。

事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

資料No.1により報告。

【有坂会長】

ただいまの事務局の説明について、委員の質問を求める。

【植木委員】

事業報告書は、領収書を添付するとあるが、我々、地域協議委員会が計算書の管理とか、そこまで目を通すわけではなく、市の方でしっかり監査とかお金のやりとりみたいなものは、しっかりされているということによいのか。

【堀川センター長】

地域活動支援事業の審査、採択までは、地域協議会でしていただく。

その後、補助金交付申請という段階になると、今度は市と団体との間で、きちんとしてきているかという点検を行う。市が領収書の添付や漏れがないかを点検するので、地域協議会がそれを点検する必要はない。

【植木委員】

今回の採択事業の件で提案者が予算書をつけているが、これに関しての見積書はどこかで確認しているのか。

【堀川センター長】

見積書は、必要になる見積書と必要にならない見積書がある。前回の会議で配った紫色のファイルに「令和2年度地域活動支援事業に関するQ&A」という冊子がついている。その3頁に対象経費一覧と見積書が必要な項目が書かれている。これに該当する場合は、見積書を市に提出してもらうことになっている。また、※印の付いた10万円以上の経費については、2社以上の見積もりの添付が必要になっている。この他に、先ほど高橋委員から質問のあったボランティアの経費、飲食にかかる経費についても、その8頁に書かれている。

【有坂会長】

以上で次第4報告(1)「令和元年度地域活動支援事業の完了について」を終了する。

—事務連絡—

【有坂会長】

次第5「事務連絡」について、事務局に説明を求める。

【堀川センター長】

地域協議会だよりを7月25日号の広報と一緒に、全世帯に配布する。そこに先ほど説明した追加募集の日程を掲載する。

次回の会議日程は、7月16日の木曜日、午後6時30分から上越市ラーバンセンターの第4研修室で開催する。

・配布資料

和田区地域協議会の運営に関する事項

主要事業・プロジェクトの概要

令和2年度上越市「地域の宝」認定制度

ウィズじょうえつからのおたより

【有坂会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。